廿二日
一 傳奏廣橋大納言殿ゟ御書付ヲ以
如左

口状

然者去ル
東照宮百年御遷宮之
儀ニ付先年被仰付候御祈祷
事ハ御祝儀ニ付入念可相勤候也
右之通可被相心得候 以上

八月廿二日　　　兼胤

右之通被仰渡候
此書付写取候而御請申上候
[illegible]以上
右之通被仰渡候

廿三日
一 市柳拿　錦九　下部
一 胡麻　下部
右ハ御用ニ付例年之通被仰付候事
之通也則御用ニ付入念可勤候
粉米返却也

廿四日 賀茂祭ニ付
一 岸本持参
村雲謹信[illegible]
右御用ニ付手渡上賀茂伴所へ
引渡當年入念[illegible]
主初度御祭[illegible]
書後[illegible]一統[illegible]

右ハ同列参会ニ付被下之

十六日
一 酒 三斤　　入谷近江守
　　　　　　　　　清宅
右賀儀之御祝参候ニ付被
成候帯中御勤候ニ付御合歓御
菓子被下

一 五月七日
　　　　　　　　同家御陽守武業
右始病気ニ付御見舞被下候
一 鯛 二十匹
　鰹 九十匹
右ハ万端被仰付候ニ付
右ハ御礼申上
一 十両 御伝奏衆ヨリ被下

口上
去ル卯年之川御普請御用
之節銀打ニ付御用方被仰付
相勤之処此度御用ニ付
右之通御手当被下候旨
一 右之趣被申付候
右御手当之段御申付
御請申上候

五月十六日
　　　　　　　　高橋重
　　　　　　　　　郡吉
右之御受之段

出来候様仕度奉存候由
ニ而被仰候
大工弐方惣代ニ而御届申上候
筋申上候ニ付以書面相伺ニ申達ス
返答ニ而相済候旨申来ル
後
廿三日
一、岡崎三ヶ村百姓共より
掛ヶ合之儀ニ付御届申上ル
右之通御伺書差出ス奉行所へ差出
右
廿七日
一、伝奏徳大寺殿御役所へ罷出
右ハ[illegible]御用[illegible]
右御届ケ[illegible]
口上覚
御所御修復御定ニ付
御出入仲間一同[illegible]
[illegible]御修復御普請物[illegible]
5修復御普請後同様ニ
御修復御用仕候ニ付[illegible]
右御修復御用仕候ニ而
[illegible]右之通書付ヲ以
右之通御修復[illegible]
右之通御届申上候
御所御修復中
右之通御届書差上[illegible]
上御所女院御所[illegible]殿下

一 五月十六日

大すけ殿出勤いたし候事

円阿弥より

同五月廿日。

一 右下三郎 深川殿入町上

水口道江殿

御承知のよし申来

十三日夜五ツ時過

一 傳奏衆ゟ御書付到来

覚

紀伊大納言殿去ル八日薨去ニ付

従今十三日普請鳴物停止

之事。但し十五日迄ニ可有之事

中将殿中納言殿

中将殿

右之通可被相心得候

十五日まで

同五月廿三日

日野殿

右之通

甚[illegible]

一 自徳大寺家御書付到来

同五月十七日

一 東海道四日市宿 国家[illegible]

東海道四日市宿困窮ニ付人馬
賃銭是迄被相増候割増之通
来午年迄

去卯四月ゟ当午年
三月迄三ヶ年之間
人馬賃銭弐割増
其上[illegible]割増被下貸付金
[illegible]被下候[illegible]当午三月ゟ
[illegible]五ヶ年之間是迄之
通弐割増候

右割増銭中[illegible]可得其意
越之趣可相心得者也

東海道
四日市宿

午三月

東海道掛川宿中山道河渡宿困窮
ニ付人馬賃銭割増之儀願之通ニ付
申渡

去未三月ゟ当午年
三月迄三ヶ年之間
人馬賃銭弐割増其上貸
付[illegible]被下候[illegible]
当午三月ゟ来亥
二月迄五ヶ年之間
是迄之通弐割増

東海道
掛川宿

去未三月ゟ当午年
二月迄三ヶ年之間
人馬賃銭弐割増
貸付[illegible]被下候
当午三月ゟ[illegible]
来亥二月迄五ヶ年
之間是迄之通弐
割増候

中山道
河渡宿

太刀折紙申請候處被下候様
存候
右之趣宜敷被仰上可被下候
午二月
葛飾北斎同門人馬
佐鏡剣将大ニ[illegible]上ニ[illegible]
去ル正月より當年
元治[illegible]年之[illegible]
今度御拝領之剣
政信中山之知行
此節午ノ月ニ付
去ル三月迄申上候ニ付
可被遣ニ付太刀之請
太刀折紙申請ニ付御座候
存候
右之趣宜敷被下候様被仰上可被下候
午六月
葛飾
北斎書
口状
別紙之通武蔵ニて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
右[illegible]
[illegible]
[illegible]
右之[illegible]
一[illegible]

一 水無瀬殿男清風　宣旨
御方ニ越て申し合せ候而お
宣旨御申候ニ付御内々無之候
申付まし　水無瀬清風ニ付
一 年分内し不足之者ニ而不申
其後御詮議ニ而済ト存候
丈三ヲ
一 右書式　病気ニ而しかる死去候　水無瀬清生
但 二十ケ
猶 九十ケ
右之通ニ被下候御猶予ニ候
同 左中将清久
廿六才　病気ニ而死去候
但 五十ケ
猶 十三ケ月
右之通ニ被下御猶予ニ候
右書状之通御申之間候
於御所
一 有何事無気御猶予被仰出
御沙汰しかるへく候
覚
御猶予之事ニ者御定之通
御留守之中ニ候人数何程人
相済候ニ而七ケ年以前ニ而
之色々年々相成ニ而候

候ゆへ 御返事延し申候以上
而御所御用之儀ニ付被成候
ニ而御座候ハヽ 以上
午 五月
土橋德左衛門

口上

別紙之通被仰出候ニ付申上
御所御用之儀ニ而
被仰付候ニ付
ニ而御座候
五月廿日
右御所
新家
右之書付差出候
此段御承知可被下候
以上
右之通被仰出候ニ付
其段御申達可有之候
右之御用ニ付申越候
以上
才助
一 今晩御用ニ付 町奉行所 小田切土佐守殿より御用有
唯今ニ而者 御用之儀 御尋之由
別紙之通
水口右将監 清風男
清兵衛

右ニ付 御返事 被下候

宮下 拾弐日
中出
左金吾 御判扱いたし
宮下
以上

宮下せんし付 左大臣御判拝し候
中とし候へ 右大臣殿御位中務
申間にて 思召候へとも左大臣殿
申間しと御判拝ませ給へ申し入
一位下列にて中にをも申し入
右大臣殿御従今度より
何事も中山殿へ 右大臣殿へ
出来候へしと申 御判拝て候
相手し候て御状くし 御判拝
勧修寺殿 [illegible] 御 [illegible] 維
官位御昇進 [illegible] 右と何も
段御歓喜候 左大臣殿 [illegible]
うち 御 [illegible] 頼 [illegible] 御 [illegible]
御 [illegible] し 思召 大事 [illegible]
[illegible] し [illegible] 御 [illegible]
[illegible] 太 [illegible] 何 [illegible]
深 [illegible] 御 [illegible] 両
[illegible] 中山 [illegible]
小将 [illegible] 御 [illegible]
[illegible] 御 [illegible]
[illegible] 又 [illegible] 中 [illegible]
遠 [illegible] 清 [illegible]
[illegible] 中 [illegible]
六月 [illegible] 中 [illegible]
一 [illegible] 御用 [illegible] 清 [illegible]
清 [illegible] 同 [illegible] 事 [illegible]

中来清湖入来御留守
無御座候
御断書
右近将監清風
清湖倅
右近将監御判物拝借仕候例書之通御
則御事申上候処遣部仕奉願候
家御加増御手当入候何卒宜敷御
平御上候御取扱御沙汰被下候て
願之通相成候様宜御願申上候
上ル以上
六月　　水口右近将監
夏将様
清湖倅御中
清風義病気ニ付以書付申上候
稲葉右近将監清風
右清風義當
去ル年より病気ニ罷在候処時気
不宜候ニ付断気痛所罷在候
之介抱致候得共相勤候程之
湯治為仕度奉存候
宜敷御沙汰被成下候様以上
六月
水口右近将監
右御書付之通申来候
稽古取扱候[illegible]
道等之儀も[illegible]
被為在候[illegible]
何卒被仰付候様御願申上候

[illegible]ニ而ハ 御[illegible]
以前元年私ハ在役頭ヘ仕候ハ[illegible] 以年来
[illegible]
[illegible] 左近府生[illegible]
[illegible]
左兵衛尉[illegible]
清蔵同席之[illegible] 清蔵
最前御請申上候[illegible]
[illegible] 則相勤[illegible]上
[illegible] 清蔵

右左近衛府生
左大将殿御判授[illegible]
[illegible]信[illegible]人[illegible]
[illegible]御判授[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 左近衛府生 水尾府生清儀 右検非違使清凱男 年二十三歳
従六位下
右者[illegible]入来

国立国会図書館　　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一 文政七年三月廿生　清儀より
右届書之通
一 鏡之儀　水口近江守へ
右[illegible]之儀[illegible]御座候[illegible]
[illegible]
四日
一 去未年秋　御所御修覆
[illegible]
[illegible]
出入[illegible]

奉願口上覚
去未年秋
御所御修覆[illegible]
[illegible]
[illegible]近衛府[illegible]
[illegible]
別紙例書[illegible]近衛府
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

年
六月
近衛府
土山武道将監

三条大納言様
諸大夫中
甘露寺[illegible]様
雑掌中

例書

例書

文化十四年九月十三日
〃中将代　三元　正六位上左近衛将監源直胖
少将代　十六　正六位上右近衛将曹源武理
内　水口　従六位上左近衛府生秦公清郁

安永九年十二月四日
中将代　秦　従五位上右近衛将監下毛野武敬
少将代　三工　正六位上左近衛将曹秦武次

明和八年四月十八日
中将代　秦　従五位上左近衛将監播磨近信
少将代　水口　正六位上右近衛将曹秦公武清

宝暦十三年十一月廿七日
中将代　紀　従五位上左近衛将監紀長宮
少将代　秦　正六位上右近衛将曹下毛野武堅

延享四年九月十三日
少将代　水口　従五位上左近衛将監秦公武清
同　山本　従五位下右近衛将監大江美秀

享保十九年十一月三日

中将代 飛鳥井 正三位上左近衛権中将臣紀宗保

少将代 難波 正三位下左近衛権少将臣藤原宗武

宝永七年十一月十一日

中将代 中院 正三位下左近衛権中将臣源久清

同 少将代 正三位上右近衛権少将臣藤原宗長

近衛 正三位上左近衛権少将臣藤原宗武

同 吉田 正六位上右近衛府将曹臣藤原武道

奉願口上覚

来未年秋
御即位御清之節 儀式等出仕候ニ
就而御祝等御覧之例ニ而も御座候
ニ付当番一同三郎兵衛儀
御覧被為仰付被下候様奉願上候

年号
月 近衛府 吉田将監

三條大納言様

議奏中

甘露寺頭弁様

御雑掌中

右之通何も不残書出し申候
無相違出入無之一統ニ奉存候
[illegible]
御役所様[illegible]被仰付[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
九日
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
右之事
六月九日
右[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 六月廿一日
右男清兵衛ト申者死去仕候　水口道心
一 銀二十匁
一 [illegible]九十匁

右近衛中将殿被任従

一 右父清閑寺中納言殿薨去　右衛門督殿

假五十日

服十三ヶ月

右近衛中将殿被任従

今日両伝奏へ以書付被届候

可申入旨

一 傳奏衆より以廻文申来

来ル廿六日女院御所

則(?)菊亭中納言

女院御所御祈始ニ付

御所へ右大臣中納言

中納言参之可被相達候

右ニ付申達

則伝奏衆(?)四辻殿

以(?)中納言殿

一 来ル廿日御茶事有之

御祝

右(?)御用ニ付御請書

御用状ニ付

入念ニ申付可申候

事故其旨可被申付候

中山殿へも右之趣申入候
右申上ル　　　　土山　雑掌
右之書付ヲ以申遣候
出雲路信濃守使者ヲ以
以書付ヲ以申入候
右御用之儀ニ付申入候
御承知被成候
若年寄一統
御出被成候様申遣候
代物之儀ハ何れも可申候事
記
寺町通丑刻
一番ニ付御年寄衆
　口状
今般御所御用御取計之儀
二付、右之書付を以申上候
新規ニ取扱之段
御出入ニ付不申上候
右之趣申上候以上
[illegible]
　　　　　　　何某
六月廿五日
　土山淡路守殿
　　　　　　雑掌
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

右之通被為蒙仰候様御沙汰候
旨被仰渡候間例年之通可被相心得候
以手紙申入候御沙汰之節可被成候旨
廿七日夜伝奏之
一前日之通 鋪設無之候
以上
従来月三日
宗千 鋪設ニ付
御本所へ大工共罷出候ニ付
前後之節入来之候間御勝手
右之通ニ付候間可被成候旨
ニ付候
六月廿七日　　右衛門
　　　　　　　　　　　諸寺
右之通申聞候
由ニ付候間右之通申来候
可被成候様申入候
以上
鋪設中修復之為御除
勝
宗千ニ付罷出候事
相渡鋪設之通ニ付
出仕事
右被申鋪設早々御除
出仕候ニ
宗千ニ付候事
御除被出候事
御

宗門之儀之事
御所深服出仕之事　堺町之
之もの[illegible]御伺之
御所[illegible]
急度[illegible]可申候
御用事
[illegible]御用[illegible]
又右衛門[illegible]
申上候[illegible]
二月十七日
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一七
[illegible]
一右同断
呉服
三條大納言[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一御用之事ニ付而ハ女房奉書ニ而
被仰出候由中ニ候得ハ中々
有之候ハゝ以之　可被仰出
可有之御沙汰ニ候　龍孝
奉畏候段御沙汰可申上
出来候ハゝ得与可被申付　以後
以後ハ一々二申付　此ニ
石之者共御沙汰有之候ハゝ
之儀可申入
右之趣被仰出候
中務卿宮殿　口状
御年寄中御役人中へ
十日於御所
一書付
口状
別紙之通被仰出候ゆへ
中将殿御沙汰之旨
被仰入候趣御用向之
ら之申入候由也
七月廿日　右之趣　能登
右之趣以書付申上候
此段御承知御座候
以上

三條大納言殿流失ニ付
持仏堂斗残り大納言殿ニは
当分御借宅ニ而御立退被成
候由也依之仕丁弐人宛
わ手之以外之所相越
食之者之持之殊御用ニ而
仕丁之内弐人一統ニ大伴指
人宛ニて罷越ニ付御様
御加之間御申入しに付
ら所々御所之事ニ有之
一右御用
申候

右之事御用御附御届
御首尾之段申聞別紙ニ而申来
申し遣候様ニ而御返事御申
候

右三條大納言殿流失之儀ニ付来ル七日卅刻
より御返しニ而別紙添書以
し御勝手へ可被差出候旨
御届之桂川殿より被仰聞
桂川殿大炊水殿より被仰出候
御返し中三條大納言中納言殿
條大納言殿ニ而御落失之
御子息方又ハ
御落様之内延宝年中大納言
様ニ

八月九日
十三日

一 七月十七日
三上左兵衛殿 武藏
大持参候段三宅右京亮書付ニ而
私儀ノ更ニ差添候由 周防守殿ゟ
御書付を以被仰渡候
三宅右京亮書付差添
一
太宰文三上左兵衛殿へ 文通
周防守殿へ被申候 武藏守殿 御達
依而被仰候ニ付 申達候 被仰渡候
大坂役
一 御所 使者 東ゟ 御屋敷へ 相渡候
廿九日
口状
從是 申上候 ニ付 七月 御用ニ
御座候
朝々 御所 ニ而 申上候
右 御伺 相済候
右之通 相違無御座候
七月廿九日
御所 役人
右者 御書付 御渡
遣候 猶又
右 御用 相勤 申候
候 以上
御所 東 御用
同列 申上
御留守
御用 御役 申候
御用掛
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

八月九日夜
一當番　日野　長

本願寺より拝領物之儀ニ付
御願書差出候ニ付二十二日ニ
頭取様御沙汰被申候ニ付
右之趣申上候処伺之通被仰付候[illegible]
右之趣申上候
八月十日
　　　　　　　　御使番
　　　　　　　　　雑掌

右之趣承知候
以書付御伺被申上候処
以上[illegible]

右之通御沙汰之旨申来候

退出

十一日
一當番日野　　長

来廿二日夜子刻御織殿ニ而
其刻大替之儀申付ニ付相願
之節入用之品付申付候也此件
右之趣申上候処其通被仰付候
　　　　　　　　御使番
　　　　　　　　　雑掌
八月十一日

右之通承知候
以書付御伺被申上候処被仰付候
右之趣以上

右大臣殿御使番当番ニ而
御用之趣右之通申出候
四日迄之通ニ而相済申候

一御[illegible]

八日 晴

右兵衛上所[illegible]内侍所[illegible]　　進藤右近將監

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]状

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

口上

[illegible]

八月廿日

[illegible]

一 [illegible]

右之通 [illegible]

一 [illegible]

九月廿八日

[illegible]

以上

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

一、わか[illegible]まいらせ候[illegible]御[illegible]
入[illegible]候[illegible]ま[illegible]御[illegible]
[illegible]
[illegible]
御[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

中山との、殿御わた文三尾柳
川鳴尾十四日小田井岩村田大文宛
前田京井枝まて宛国宛付
人々に御はり給りたまへ候
さらに候やう候

中山との
殿宛
御わた宛
大文宛
三尾宛
柳川宛
鳴尾宛
小田井宛
岩村田宛
東みち井宛
前田宛
京井宛

去年七月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

太刀[illegible]中将[illegible]て候
[illegible]
[illegible]

年六月

三州岡崎伊賀八幡宮之
神田之事

三河
摂津
伯耆
丹波
信濃
和泉
伊豆

右伊賀八幡宮社殿破損ニ付
修復之助成右五ヶ国寄附募
義、当未年より来ル亥年迄勧化
御免之旨寺社奉行連印之勧化状
相渡候間、当年中より来年十二月
迄之内相廻り候社人在所一
添簡を以相廻り候ハヽ、寄進いたし
相応之寄附之儀可申聞候
右之趣御料は御代官、私領は
領主地頭より可申渡候

午三月

別紙

別紙之通被仰出候間、其旨
相心得、右之趣御料所
私領寺社在町江不洩様
可被相触候　　　寺社奉行
以上　　　　　　　　土屋
右之趣村々江可相触者也

出るにつき候使にて申入
候とてかくのかはりに
右者入魂の事仰出され候事
十三日
一 元服 右近衛権少将 兼治
右小路 宣下ある事
十四日
一 四日
三宅右近将監 意治
右男三吉十七才 右近府生 小府官位
中村弥左衛門 宣下ある事
十五日
一 安藤氏 土阿はる
右中将 宣下ある事
十五日
一 右近衛将監 ・ 土山安藤
右宣下ある事
一 従五位下 右近衛将監
意治男
三宅右近府生三吉 十七歳
右初官位宣下
一 文政十三年十月七日生 三吉
右宣下ある事
十六日
一 陰陽寮 正月 御祈りに付
正事さる事 御祈の事
別条なし
准后様 来年十二月
寿宮御婚約定候 御沙汰

右之通ニ而も[illegible]雑掌様
かは[illegible]御沙汰も無之候ニ付伝奏
より[illegible]申来候ニ付御届書
月番伝奏様へ[illegible]也
差出書付[illegible]

十九日
一 伝奏方[illegible]
右月番之御方へ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十七日
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
中[illegible]

十月廿七日夜戌刻ニ
一 禁裏之飛鳥井殿ゟ御書
御参申也

口上覚

就来月六日
禁裏於小庭一ヶ度蹴鞠御興行
以御沙汰ニ而御上下ニ付銀子
貸与借用仕度候ニ付申上候
以上
十月廿七日　　飛鳥井
　　　　　　　　雅章

右之書付其段
出羽殿へ相伺候処承知之旨被申候故
此段申上候

一 百金銀之事ニ付御割符之上銀子
文政元年之銀子ニ而御割符之上
銀子ハ銀ニ而御渡可被下旨
午十月之御帳面ニ相記置申候
此度御割符ニ付御渡可被成之処
無御座候ニ付其段申上候
此上ニ而御返済可被仰付候
又其通ニ而御渡候得ハ御割符
之上御渡可被下候右之通
紙面ニ而御頼申上候
中付
右之通ニ而御渡候
十月

口上覚
別紙之通前々ゟ御渡申候
尚又御帳面ニ相記置申候

ちや御方より御申入候へと
あさきとのへ　　御奉行
雅章
十月十七日
右近衛権少将度
旧冬叙位宣下ニ付
にてく／やこう申候
右者中将書状奉行清閑寺へ
一 廿四日別ニ被仰出之旨
以上
菩提院宮尭恕法親王
今度御願之通り被成候
勅許候て
ちや御方より御申入候
あさきとのへ　　御奉行
雅章
十月廿七日
右近衛権少将度
当分叙位宣下あるへく
以上
右之通被仰出候ニ付
菩提院宮尭恕法親王
法事御回向之儀
一 伝奏衆より被申候
以上
新宰相御経を

御非番ニ付御渡し下候ニ付 高橋
右仕ニ付御入用ニ付
差上候以上
十二月十八日 高橋雅楽
高山寺ゟ相渡候
進上候様被仰出候
しらべ候
右之方控可被成候
一 書 中川左近長
此段御達之所ヘ川端
出入衆中申渡
右之通御達候 以上
九月
十三日
一 雑記 記書 水尾主殿 清俊
右御所御用之筋 御座候
一 右御所御用仕候ニ付
書付差上申候 水尾監物清生
一 積仕 左將曹 水尾主殿清俊
右御用之節ニ而御座候
差上申候
中川左近
十二月十三日
高橋雅楽
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

御神事ニ付服者之儀参内有之候 [illegible] 被仰出候ニ付申入候
以上

十一月十八日　飛鳥井殿雑掌

右之書付中山殿より被相渡候
進上候様被申渡
[illegible]
右之方様 [illegible] 相渡候

一 書　中川左兵衛長

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible] 何事茂 [illegible]

口状

[illegible] 御関白様御男 [illegible]
御 [illegible]
之由
准后様御世話被成下 [illegible]
[illegible] 御 [illegible]
中山 [illegible]

十一月廿三日

[illegible]
雑掌

[illegible]

右之通被仰渡候

此段以使札御届申上候

御届申上候以上

右之者共儀ニ付御用[illegible]

蔭等ニ而可申付置候ニ付可申

并御女中ゟ四ツ比之内ニ至ル

十二月七日

一 藤木左馬長常龍 当年四十才

内年ニ而御役被仰付補席被仰

書出之儀ハ私より列御当番之儀

伺書之事ニ而上申候

伺書

一 文政六未年正月補右近將監長

賴年ゟ四年和泉守長賢附乗任

年ニ而御近習御役附ニ而蔵人

当年二十四才弟ニ而被仰付御[illegible]

之御役所被仰付補席之内ニ而

難有仕合奉存候此段御届申上候

年寄共江以書付

午十二月　藤木左馬長
　　　　　常龍

右京將様

法土支配中

左衛門様御中

常龍右之者共儀御用番右京

ト御用済之上御用所ニ而御届申

差出し候ニ付御届申上候 御[illegible]

二付右衛門殿ゟ御当番之上不申候

御用番ニ而御出仕候得ハ

ゟ書出有之候ニ付、右大将殿
坂上ゟ上申也、右大将殿江申入候、御承知之旨也
以上
一 ○○院右大将殿より、之来ル也
年則参向しま、叶ぬ鈴木
御所元男御稜加嶋、庭ニ信上申
文化 禁上常陸介殿ゟ申入ル、文
中務閣しま、御稜参也、右方
右思召之通、かく以下御伝ニ常
勝萬之右衛門、右大将殿御頼
備前守中三日御書付差出、右大将殿
中務閣も、林様ゟ常臣下以呂、次第
可差遣事也、林氏御承知之旨也
右御返之文様御承知申候、之旨也

十三日
一 梅園中将常殿ゟ補節致候
勘出 右大将殿御差出之候
有之 今日右大将殿御招待、御承知ニ付
中務閣しま 右大将殿思召之通、各申入候
右申付候之節、右大将殿、御承知
右大将殿御様子 右大将殿思召
右之通ニ付、其文段御聞置
ゟ以申上候、右大将殿申
右大将殿仰附之旨可有之
御附出候、各御申也 御所和
可被之由 右中将常殿御談シ
両大将殿御聞済也

御写之、中村紙、之通御差出候

昨年ハ中折紙ニ而差出候所
今年ハ杉原ニ而可差出旨被仰出候由
淡路守へ相尋候処可然由ニ付此段
中将殿ゟ御沙汰候
右之通被仰下候ニ付杉原ニ而差出ス
殿上前中将

一 十四日 従六位上
下 鈴木右近府生
上 三上左近府生
右加級中折紙ニ差出置候也
届出候処〆

一 十五日 従六位下
左近衛府生
藤井右近番長
右中折紙ニ差出候也

一 水口近江守清好儀左近府生清作儀
今度願之通府生被仰付候ニ付上京
（清好ハ先ニ）杜文者清作儀神宮伺家 宗之儀
可有之旨被仰付候処王政復古
之儀ニ付同様可申出旨来ル
則右之段清作へ左大将殿へ
願出候処同様之通可申出旨
差出候処〆
右之通申出候
一 右之通差出候所
追而御沙汰可有之旨被仰渡
大将殿ゟ御達之趣 鈴木番長
右之段申渡ス 出雲 御承知
御達之儀ニ付則

願書之通被仰付候ハヽ、冥加至極難有
忠勤之儀内々御取計可被下候

奉願口上覚

秋篠右近府生清儀

初官位家
宮下雅有給仕奉存候ニ付猶又先達而
雅楽之高名言上仕候ニ付御沙汰被成候
此上共少々御頼ニ付而者御座候
任官延上位記奉願上候間宜御取計
奉願上候、私近衛花裏仕度旨御願
被為在候ハヽ御憐愍之御沙汰を頼候通被為
仰付被下候ハヽ難有仕合奉存候、以上

十二月

水口近衛府
清時 判

左大将様
諸大夫御中

右大将様
同断

奉願口上覚

一 同左近府生清儀 初官位家
宮下雅有任官奉存候ニ付先般雅
楽之高名言上仕候ニ付御沙汰被成候
奉存候、此度近衛府清成為御願
此度持参諸侯辞退延上位記奉願上
仕何卒御憐愍之御沙汰ニ頭之通被
為 仰付被下候ハヽ難有頭ニ奉存 初官位
家 宮下雅楽頭之奉願候、以上

十二月

同左近府生
清俊 判

同右近府生
清廣 判

同右近将曹 藤清[illegible]
同右近将曹 清秋
同左近将曹 清季
水無瀬近将曹 清生

左大将様 清季朝臣
右大将様 同上

右頭書之通同書付頭書之通言上
左大将様行事清季之丈言上候処無事顔
両御所御出座之儀尚以御沙汰之事
右之外被仰出候 宮中 水無瀬一同
[illegible]
当日右之通被仰付候処少々[illegible]
清季も右之通被申上候処 御沙汰
し御同意之旨同右之通被仰出
御沙汰被申候間宜敷[illegible]
御[illegible]清季同書付[illegible]
有之被仰付候上御沙汰之 言上
しは清季之御沙汰[illegible]
気之清風右申候之清風男[illegible]
御沙汰中[illegible]御沙汰
し右[illegible]同書付[illegible]
中沙汰[illegible]之御[illegible]
清御沙汰之[illegible]
稽[illegible]
太[illegible]之[illegible]
御[illegible]
右被人御[illegible]言同

出来ニ付罷入候ニ付百石宛御菓
子被下候旨 [illegible] 其段申上 且同職中
之御祝儀ニ付 御用位之者 [illegible] 申上
内ニ一條家ニ同前申上候旨申ニ付
請取ニ付 右之通ニ而 今日遣ス
先達而 右之通 取計候様申上 諸家ニ而
任候ニ而武家伝奏 取計候ニ付 [illegible]
御所江も [illegible] 御局ニ而清閑寺
[illegible] 候旨 [illegible]
おゐて [illegible] 申入候 [illegible]
日野 [illegible] 中ニ而 [illegible]
此段 [illegible] 申上 [illegible] 相済
[illegible] 清閑寺 [illegible]
[illegible] 一條家ニ [illegible]
内ニ [illegible] 一條家 [illegible]
[illegible] 清閑寺 一條家 [illegible]
[illegible] 申入候 [illegible]
[illegible] 兵庫頭 [illegible]
[illegible] 勤番 [illegible]

十八日
一 加級 従五位上 三上左近府生常務
一 遷任 出羽守 [illegible] 鈴木右近府生 出羽守武柄
一 従六位下 左近衛府生 藤木左近府生 常教
一 右者昨夜宣下ニ付 為御礼 [illegible]
一 同家左近衛将監長武 刑部 従五位上 京信
[illegible] 新規 [illegible] 級中 [illegible]

候ハゝ録官ニ来候て、いつれ成時
ニ預り候ハゝ、宜ク十方寺門為之間
左之趣長老無滞相済候様御願
候ニ付御内証ニ而右之通相成候様
帝経白之方御懇ニ承知被仰被下候様
中寺ニ而如何とも此節寺長老中
御補任之儀ハ左右之録官へ被仰渡候
願書差出申候

御推挙願上書

宗俗触頭所
西山多門

[illegible]

右之通相違無之此段寺長老年来
寺長役頭ニ相勤候ニ付此度
勤続年来精勤仕以 御推挙
何卒新補被 仰付被下候様
格別之以 御情願之通被為
思召候ハヽ 御加杯頂戴仕合
至極難有仕合奉存候以上

年十二月
寺院寺長老武刹下

左大将様
諸大夫中

右大将様
同断

一 近年寺長老新補ニ付て右之者新
補任一通雑掌御取次 [illegible]
当寺願之通被為 仰付被下候様

奉願上候
寺院役寺長老
西山多門

右者寺長老新補之儀願

死去ニ付今般右近当分長期ニ承候
然ル付別紙頭書ヲ以頭書之通り
何卒執権御情西ヲ以頭書之通被
聞召上候様仰付被下候様
御沙汰之程偏ニ奉願上候以上

十二月　　　土山右近将監

花山大将様
　　諸大夫中

左大将様同断

右頭書之通左大将殿下執事役
大夫雅楽頭ヲ以御伺之上御所
江罷出勤仕之事ニ候　右京大夫保孝
新補之処　新補ニ付　中條
等ニ而勤仕之事ニ而　書付差出
之事ニ候　任様　右大将殿
御事ニ而梅戸紀伊守ゟ御伺之
上ニ而勤仕之事ニ候

一河合右馬大允雅員事河合肥後守
忌服之書付　御所江勤仕候ニ付
御所江申出之事ニ候　且又勤仕
之事ニ申出之処ニ付
新補ニ付御所勤仕之事ニ候
頭書之　頭書右之通右書
頭書ニ出之候　右大将殿　且又出候
間右大将殿ニ御伺之上罷出
書出頭書左大将殿ゟ御所中ニ候

義出候ニ付、龍蔵ニ而被仰渡候趣上
野源左衛門殿ヘ申上候処、御番頭江
ニ而申上候様ニ被申候ニ付、其段申上
候処、尤ニ候、然ル処 伊庭 河合雅貞
義ハ先代ゟ御世話ニ而隠居被致候
ニ付、頭ゟ申上候、可然存候

一右大将殿江者、天保十年ニ被新補
仰付候、番頭新補ニ付、御礼
申上候由、申来候

一廿九日

番長新補例書　右者当七月上京之節書

松宮右近番長 義信
松宮右近将監次男　松宮右近番長[illegible]

土山左近番長 武利
坪田左近府駒隠勝清五男土山左衛門尉[illegible]

橋本左近番長 政一
三沢右近番長[illegible]

伊佐左近番長 裕清
水口右近府生[illegible]

山中左近番長 泰全
山中左近将監[illegible]

河合右近番長 雅貞
鳥辺右近番長雅言外甥[illegible]

右天保十一年四月 府随少 随身陪従番長
等之子孫ニ候、居流及観旗ニ候、一統人
雅番長ニ而為新補、此節ニ而申出候而
本情條被仰候、則往進仕候、如同
付出右之通被 補候、河合雅貞 [illegible]
月廿八日被補候、右新補比度之

依願被補め元

鈴木故主税次男宗右衛門婿男子
松田左近番長要之助
右天保六年正月水口右番長病死ニ付清貫
義本家相続ニ付被補左府生同族番長
跡ニ者成候ニ付鈴木右衛門孫純宗様願之依願同
月十八日被補

水口故右衛門男ゟ入卯清孝次男
水口故右近番長称今賢孝
右同年同月水口右番長清貫実家水口家
相続ニ付水口右衛門宗清分家相絶候
数顔甘宮清次男ニ而相顔候ニ付何卒
幼年ニ付成長之上ゟ願出候趣御座
候ニ付此月七年九月右同宗清孝勇
義清者宗清ゟ依願十月十七日
被補
宗清方出入

進藤故右番長定教次男
進藤故左近番長要之教
右天保十二年十月進藤右府生定保本
家ゟ内儀勤仕致ニ定保依願同
月廿七日被補

三宅左府生民直次男
三宅右近番長民直蔵
右弘化元年十二月西尾右番長源謙通
改補西尾家亡ニ而同族番長
跡家ニ者成候ニ付三宅左府生直成
依願同二年正月廿二日被補

山中左府生大江春全嫡
山中左近番長大江寿令

右天保八年十二月山中左衛門尉家督
本家相續ニ付跡補左衛門尉家長
闕候ニ付成長ニ付左衛門尉奉公依願
同年十二月廿日被補
右両大将殿ゟ者通充持参注進到
中番手
夜中到候
一花山院左大将殿ゟ一つ書を以申来
出雲守殿到来年頭しより於京都ニ而
新補左衛門尉武利ゟ到此と返上い
新造書候ゟ御中書ゟ申候
御手当ゟ候年頭御礼相済候ゟ
此頭之通候　開召候旨是年
衛門長新補望被停止ゟ以後
出雲守ゟも殿ゟ出雲守武家
御年寄ゟ相心得之通相成候
右御書付被仰付候ゟ御下
別段之儀ゟ之書付可申上
一御同左大将殿ゟ書付ゟ申来
右大将殿ゟ申候ゟ御書付ゟ相成
候ゟ御下知ゟ上御沙汰之
右之通ゟ御殿ゟ御中書と
一書付到頭殿ゟ左衛門尉武利以来
相用候中候　殿下　両大将殿
御沙汰之儀ゟ申付候
一右大将殿ゟ要文門跡之到
年頭之儀ゟ相成候　御沙
別武利ゟ申付ゟ右之通ゟ
承通

料紙奉書上包も奉書

源　徳弘（のりひろ）　三十六歳

右之通　右大将殿ヘ持参仕進
之通ニ当リ相渡シ候也

十九日

一　左大将殿ニ口宣案申斗リ罷出
之処水口要人清書ニ而持参いたし候
依而為応答辞官返上位記頭ニ候
思召之由ニ付右中将殿ニ而申上
出之由同人手ト亭主所持参之様
宿兵庫殿を以持参仕候　謹而
御用清書於相見相成
右大将殿ト御書之通持参相伺
しく左大将殿ニ而御上書之
此方候様子以御上書手ニ而相成

中将
但清書ニ而持参いたし左大将殿
ニ一條殿ト御持参いたし候得共一條中納言
ニ而御勘書之事一事ニ而いたし候
御口上書ニ而も書之ニ而相成
之由ニ付兵庫頭申上置いたし

すて
一　辞官返上位記　　水左衛門清儀
右位階中納言職事宣旨
左大将殿下ニ而差出ニ付水口
清秋（之儀）より
但辞官返上位記之事ニ而
差出候事（之れ）より之趣

一花山院右大将殿ゟ御用ニ付今日
巳刻　禁裏御門使参候処
右ハ清閑寺中納言殿
右金子長武料ニ付御用
被仰付候ニ付依之御請申上候
同使参候

源徳弘

為右近衛番長

弘化三年十二月廿三日

右大将殿御判物被下置候切紙
様大納言殿ゟ御下ケ被下候旨
御請御取次中納言殿ニ而
了　御請申上候
殿下　右大将殿御執奏

一節季新調被成候ニ付別紙
…
…
…
中

一香料代金百疋
松実　五本
酒　一斤
香山右近番長
右此節新調被下候
…

一廿四日
右辞官返上位記被　水口左府生清儀
到来ニ付
水口近江守代同右府生清房ヘ相渡
廿五日
一文化八年十二月晦生　秀山右之番長
右届書持参有之
一　水口近江守
右[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　右府生清房辞官返上之
位記[illegible]　水口左府生清儀
[illegible]
一庭儀[illegible]
[illegible]
口状
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
十二月廿五日
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

口状

渡辺様御息女今年四拾歳
不成候 令日然候下而令
承候而申上候 右御伺申上候
可被下候様奉願上候

十二月廿五日 右京大夫
小堀某

右之通承知仕候
此上取次候様被仰付候
以上 へし之上
右之方御断申上候処
思召候
前条之趣同役中申談
申口達候処申上候様
候

一 右是迄上御霊馬場川之上東中町 進藤右近衛将監
土佐守役人方之間折々御出入有之町
迎而遠候ニ付御用向候所
候ニ付 村上一衛之儀も
しも 御事ニ
有之事
一 右姑病気ニ付書生ニ付 水口先進藤清先
此節死去候
被 九月廿日

右之通ニ而御安否伺候ニ付
不他出御出来ニ付
其外之品到来
一、紅葉花より御出来ニ付出来

口状

東本願寺御門跡室様御方
昨夜以飛脚申来候 此段申入
二十日之事
准后様御機嫌能被為成候
甚以目出度存候 右之段
宜敷 以上

十二月廿日　東本願寺
　　　　　　坊官

右之通御返事被申候

以後之ことも以上

右之通御機嫌之儀ニ付
御使者

右之通御使者口上ニ而
申上候 御返事之儀申上
御返事 宜敷御取計

一、同日

口状

東本願寺御門跡室様御方
御使者以飛脚より二十日之事
准后様御機嫌伺

別勅ニ而御機嫌伺御使

別勅ニ御清浄ニ被為遊候

御様ニ存候ニ付所ニ而御座候而も相済申

右之仲ヶ間ゟ先例之通ニ申上候

十二月廿八日　　高階　雅楽

右之通ニ申上置候

出入御例ニ相成候ゟ御

沙汰ニ相成候事

大取方取ニ而ニ御所ニ相成候ニ

前条之趣ニ御別段ニ而申上

高倉ゟ御沙汰之通ニ被仰付

一水口道清殿男清浄一件

右御沙汰ニ付内ニ一条殿御清浄

之義御座候事善相済候　仰付

是ニ而御清浄之由ニ而御座候ニ付

御座候

翌年二月同氏依歎願

十八日免ニ相成候事

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号　826-91

ガラス使用